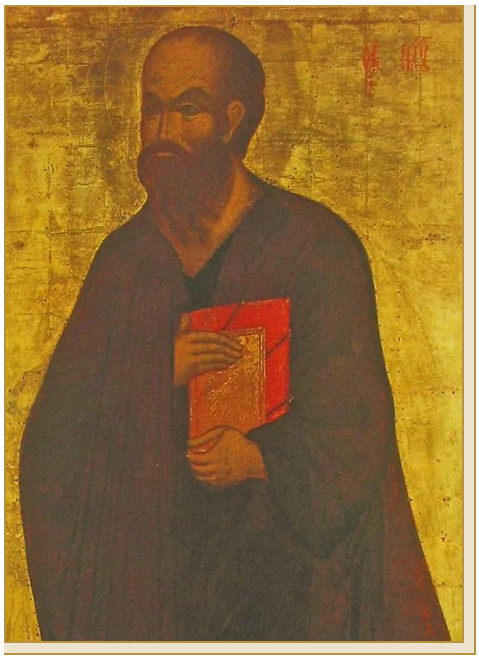

使徒継承

使徒パウロから、スコットランド聖公会および Samuel Seabury 主教を経て、現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教*

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.‡

諸国民への主教、使徒的委任のもとに

1. 聖パウロ、使徒、殉教者 CO

紀元35年頃、使徒職に召された

聖書に名が記されている：ダマスコへの途上で、復活されたキリストに召された（使徒行伝9:3–6）。「召されて使徒となり」（ロマ人への書1:1）

この使徒継承の系譜は、紀元35年頃の使徒パウロから今日にまで及び、2026年現在で1,991年にわたる。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

アルル

ガリアのアルル主教座。使徒パウロの弟子、聖トロピモによって創設された。聖アウグスティヌスは、イングランド宣教のための主教聖別をこの主教座から受けた。

2. 聖トロピモ CO 58
3. Dionysius 80
4. Regulus 85
5. Felicissimus 100
6. Gratus 120
7. Ambrosius 145
8. Martinus 170
9. Ingenuus 180
10. Augustinus 200
11. Hieronymus 220
12. Savitius 230
13. Marcianus 240
14. Victor 250
15. Marinus 270
16. Martinus II 270
17. Nicasius 330
18. Valentinus 342
19. Saturninus 354
20. Crescentius 365
21. Concordius 380
22. Constantinus 392
23. Heros 410
24. Patroclus 422
25. 聖 Honoratus CO 426
26. 聖 Hilarius CO 438
27. Ravennius 449
28. Leontius 463
29. Aeonius 493
30. 聖 Caesarius CO 502
31. Auxanius 542
32. 聖 Aurelianus CO 546
33. Sapaudus 556
34. Licerius 586
35. 聖 Virgilius CO 588

カンタベリー

カンタベリーの主教座。教皇聖グレゴリウス1世（大グレゴリウス）が597年に、イングランドの人々に福音をもたらすために遣わした聖アウグスティヌスが創設した。

36. カンタベリーの聖アウグスティヌス CO 597
37. 聖 Laurence CO 604
38. 聖 Mellitus CO 619
39. 聖 Justus CO 624
40. 聖 Honorius CO 627
41. 聖 Deusdedit CO 655
42. タルソの聖 Theodore CO 668
43. 聖 Brihtwald CO 693
44. 聖 Tatwine CO 731
45. 聖 Nothelm CO 735
46. Cuthbert 740
47. 聖 Bregowine CO 759
48. Jaenberht 766
49. Æthelhard 793
50. Wulfred 805
51. Feologild 832
52. Ceolnoth 833
53. Æthelred 870
54. Plegmund 890
55. 聖 Athelm CO 914
56. Wulfhelm 923
57. 聖 Oda CO 942
58. 聖 Dunstan CO 960
59. Æthelgar 988
60. Sigeric 990
61. Ælfric 995
62. 聖 Ælfheah CO 殉教者 1006
63. Lyfing 1013
64. Æthelnoth 1020
65. Eadsige 1038
66. ジュミエージュの Robert 1051
67. Stigand 1052
68. Lanfranc 1070
69. 聖 Anselm C 1093
70. Ralph d'Escures 1114
71. William de Corbeil 1123
72. ベックの Theobald 1139
73. 聖 Thomas Becket C 殉教者 1162
74. ドーヴァーの Richard 1174
75. フォードの Baldwin 1185
76. Reginald Fitz Jocelin 1191
77. Hubert Walter 1193
78. Stephen Langton 1207
79. Richard le Grant 1229
80. 聖 Edmund Rich C 1234
81. サヴォイアの福者 Boniface C 1245
82. Robert Kilwardby 1273
83. John Peckham 1279
84. Robert Winchelsey 1294
85. Walter Reynolds 1313
86. Simon Mepham 1328

87. John Stratford 1333
88. Thomas Bradwardine 1349
89. Simon Islip 1349
90. Simon Langham 1366
91. William Whittlesey 1368
92. Simon Sudbury 1375
93. William Courtenay 1381
94. Thomas Arundel 1396
95. Henry Chichele 1414
96. John Stafford 1443
97. John Kemp 1452
98. Thomas Bourchier 1454
99. John Morton 1486
100. Henry Deane 1501
101. William Warham 1503
102. Thomas Cranmer 1533

イングランド国教会

宗教改革後のイングランド国教会の主教たち。各主教はその前に挙げられた主教によって聖別された。Gilbert Sheldonまで。

103. John Scory 1551
104. Matthew Parker 1559
105. Edmund Grindal 1559
106. John Whitgift 1577
107. Richard Bancroft 1597
108. George Abbot 1609
109. George Montaigne 1617
110. William Laud 1621
111. Brian Duppa 1638
112. Gilbert Sheldon 1660

スコットランド

スコットランド聖公会の主教たち。1661年、当時ロンドン主教で、のちにカンタベリー大主教となったGilbert Sheldonによってウェストミンスターで聖別されたJames Sharpから、臣従拒誓派（ノンジュラー）の主教たち（各人はその前に記された主教によって聖別された）を経て、首席主教（Primus）Robert Kilgourに至る。

113. James Sharp 1661
114. Alexander Burnet 1663
115. Arthur Rose 1675
116. Alexander Rose 1687
117. Arthur Millar 1718
118. Thomas Rattray 1727
119. William Falconer 1741
120. Robert Kilgour 1768

アメリカ合衆国

Samuel Seabury から。彼は1784年、アバディーンにおいてスコットランドの主教たちにより、合衆国の教会の最初の主教として聖別された。1792年、Seabury はイングランドで聖別された主教たちと共に Thomas John Claggett に按手し、スコットランドとイングランドの継承をアメリカにおいて一つにした。Claggett から継承は、ここに掲げる各聖別において按手した主教たちを経て、今日までこれを受け継いできた主教たちへと伝えられている。

121. Samuel Seabury 1784
122. Thomas John Claggett 1792
123. Edward Bass 1797

124. Abraham Jarvis 1797
125. John Henry Hobart 1811
126. Henry Ustick Onderdonk 1827
127. Benjamin Treadwell Onderdonk 1830
128. Samuel Allen McCoskry 1836
129. William Edward McLaren 1875
130. William Montgomery Brown 1898
131. Wallace David de Ortega Maxey 1927
132. Nils Bertil Alexander Persson 1986
133. Samuel Guido, Jr. 2004

134.

Garland F. Byers, Jr.

2013

カンタベリー大主教と共有する継承

現在のカンタベリー大主教Sarah Mullallyとバイヤーズ主教とは、聖パウロからGilbert Sheldon（1660年主教聖別、1663–1677年カンタベリー大主教）に至るまで、同じ使徒継承の系譜を共有している。Sheldonは、両系譜がそれぞれ由来する主教たちを自らの手で聖別した。Mullally大主教の系譜においては1674年にHenry Comptonを、バイヤーズ主教のこの系譜においては1661年にJames Sharpを聖別したのである。

聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマートンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc.において主教聖別を受け、その後同団体においてWestern North Carolina教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc.より授与、2013年4月20日。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、主教についてのページに掲載されている。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：ウィキソース。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「……」で示しています。

使徒聖パウロのイコン、ロシア、ヤロスラヴリ、救世主顕栄（Spaso-Preobrazhensky）修道院より。出典：Wikimedia Commons、パブリックドメイン。原画からトリミングおよびサイズ変更を施した。